

事務事業名		植野デイサービス空調設備改修事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	2 自立支援サービスの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4856	一般	3	1	3	植野デイサービス空調設備改修事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		義務的事業		
事業計画	単年度のみ		事業期間	平成26年度		根拠法令 条例等	佐野市デイサービスセンター条例				
	実施方法		実施方法		直営		事業分類		施設維持管理事業(市主体)		
	リーディングプロジェクト		リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		2-9		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
安定した介護サービス供給基盤を確保し、高齢者福祉の増進を図るため設置されたデイサービスセンターの管理を行う。 赤坂、植野、犬伏、石塚、遠原の里、葛生あくとのデイサービスセンター	老朽化した植野デイサービスセンターの空調設備の改修を行った。						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	利用者数	人	2,785	2,955	—		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

介護認定を受けた高齢者	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	65歳以上高齢者数	人	31,140	32,923	—		
	要介護認定者数	人	5,805	5,978	—		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

入浴や給食サービスを受け、在宅で自立した生活を送る。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	要介護認定高齢者の割合	%	18.6	18.2	—		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

自立した在宅生活をしてもらう。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	在宅福祉サービス利用者数	人	1,526	6,934	—		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円		2,301						
	事業費計(A)	千円	0	2,301	0	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					工事請負費	2,301				
	人件費	正職員従事人数	人	1						
	のべ業務時間	時間	30							
	人件費計(B)	千円	0	118	0	0	0			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	2,419	0	0	0			

事務事業名	植野デイサービス空調設備改修事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	------------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	高齢者福祉の増進を図るため指定管理者に植野デイサービスセンターの管理・運営を委託しているが、施設の老朽化により空調設備が突然故障する恐れがある。酷暑や厳冬の時に故障すると施設を利用している高齢者が熱中症、風邪やインフルエンザに罹ってしまうため、改修が必要となった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	高齢者を熱中症やインフルエンザなどから守る危機管理意識は高くなっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	施設を管理・運営している指定管理者から、改修の依頼があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	(新規事業のため対象外)

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	植野デイサービスセンターを利用してもらうことにより、自立支援サービスの拡充が図れる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	植野デイサービスセンターは指定管理制度を導入しているが、施設の大規模改修等は市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	デイサービスセンターは、介護認定を受けた在宅生活を営む者が利用している。同センターを利用することによって健康維持を図り、施設に入所することなく自立した在宅生活を送っていただくことを目的とするため、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	老朽化した植野デイサービスセンターの空調設備の改修をするための事業であるため、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	改修に要する工事請負費であるため、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	受益者は高齢者全体であるため受益者負担を求めるとはならない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	空調設備改修が完了すれば、この事業を終了することができる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業終了 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			